

事業区分	文化芸術事業			鑑賞事業			
事業名	イ・ムジチ合奏団 米子公演			助成:ごうぎん鳥取文化振興財団			
目的・内容	近年、県内でのクラシック公演は、国内オーケストラを中心とした内容で多数開催されているが、優れた室内楽の公演が上演される機会が著しく少ない。良質な海外の弦楽アンサンブルを招聘することで、幅広い音楽愛好者の拡大を目指す。						
開催日時	平成21年10月23日(金) 開演18:30						
会場	米子市公会堂 大ホール						
入場料・参加費 (友の会・団体)	SS席:6,500円 (6,000円)	S席:5,500円 (5,000円)	A席:4,500円 (4,000円)	大学生以下:2,000円 (設定なし)			
集客状況	入場者数	636名	設定席数	1,120席	集客率	56.7%	
事業費状況	予算額	収入	5,220,000円	支出	7,081,000円	収支比率	73.7%
	決算額	収入	3,756,000円	支出	6,635,397円	収支比率	56.6%
来場者アンケート (主なもの)	<ul style="list-style-type: none"> ・最高でした!! 生まれて初めて買ったLPレコードはイ・ムジチの「四季」でした。30数年前のことです。以来聞ける日が来るといなあと願っていましたが、ここで聴け、出会えてとても嬉しいです。 ・さすが一流と再認識いたしました。夢の世界(CDで聴きなれていまいち気が進まなかったが聴けて良かった)、音(弦)の森林浴、とても幸せな時間、クラシックは生ですね。”ようこそ米子へ”と感動しました。とにかく美しい弦楽合奏に感謝。素晴らしかった。 ・あの有名なイ・ムジチ合奏団の生の演奏が、米子で聞けて大感動です。やはり「四季」は昔から大好きでしたので、今夜はヴィヴァルディにどっぷりひたって、大満足でした! ・前の席でマナーモードの携帯がブーブーになっていた。コンサートの時は電源を切らないといけないと思った。「マナーモードにする」のは良くないと分かった。 						
1次評価 (内部)	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来場者の満足度が非常に高い公演(90%)であった。アンケートでも「また聴きたい」という声も多く挙がり、音楽愛好者の拡大に繋がった。 ・米子での開催ということもあり、拠点施設がない中で、西部地区の音楽関係者の方々の助言や協力を仰ぎながら事業推進を行った。今後の財団事業を実施するうえでも必要な、地元の人脈作りの取っ掛かりになった。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入場者数が目標に達しなかった。(636人/目標900人) 新規鑑賞者の獲得ができなかった。「四季」だけでなく、弦楽器の魅力等も併せてPRできればよかったのではと思う。 ・「イ・ムジチ合奏団」のプレ事業として「ココロのサプリ」を行ったが、会場が東部(とりぎん文化会館)だったためか、集客に結びつかなかった。 ・満足度は非常に高かった(90%)。西部地区での観客数を増やすことが一番の課題である。 ・西部の音楽関係者によると、西部では「地元出演者」がいることが、入場者数に大きく影響するとのことだった。おそらく出演者の関係者達の販促力によるものだろう。今後はそういった方達に協力を仰げるようなネットワーク作りの必要性を強く感じた。 						
2次評価 (財団評議員)	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きわめて質の高い海外の弦楽アンサンブル公演が地方都市で開催されたことについて、財団の工夫、努力は大いに評価する。 ・広報宣伝に関わる協賛先との連携により、更に広くアピールできたと思う。 ・子供や若い世代の観客が多くみられた。家族での来場という形も多かった。初めてクラシック公演を体験した人達にも大きな感動を与える機会を提供したと思う。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入場者、収支等目標を下回った。今後に備え原因分析(例、西部のクラシック愛好者数、公演の日時等)をしておくことが必要である。 ・今後を見据え、高校生、大学生の参加をもっと支援できればと思う。 ・顧客の開発方法、ひいては西部地区への文化、芸術のテコ入れが必要。 						
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・高いチケットを購入してでも生の演奏を聴きたいと思わせられるような仕掛けづくりをする。(広報や販促) ・拠点館のない西部地区では、東部、中部以上に人的ネットワークを作り強固にしていく。 ・クラシック鑑賞者の新規獲得のために、低価格で質の担保のある公演も取り組む。 						